

知っていれば安心!!心肺蘇生とAEDの使い方

～ドキドキ一次救命体験!～

4月21日(土)、イオンモール神戸北「知っていれば安心!!心肺蘇生とAEDの使い方」と題した赤十字救急法ミニ講習会を開催しました。

会場となった3階フロアは、子供服や子供向け雑貨等の店舗が並び、開店当初から親子連れで賑わいました。

「自分は職場で習ったので、子どもにもやらせてみたかった」と言うお父さん、「大きくなったらお医者さんになりたいから」と一生懸命覚えてくれた小学生、つい先日、学校で習ったばかりの中学生等、講習会には幅広い年齢層の方々が参加されました。

このミニ講習会に参加された皆さんとお話をする中で、大人、子ども関係なく、命を救うことへの関心の高さを感じることができました。



人工呼吸って、こうするんだっよね?

救護員基礎・実践研修会 ～直ちに被災地での救護活動ができるように～



事故を想定したトリアージ

5月19日(土)、兵庫県支部で救護員基礎・実践研修会が開催され、兵庫県内の4つの赤十字病院と看護専門学校、血液センターの救護要員71人が参加しました。この研修会は、災害に備えて各施設に組織している救護班を始め、dERU要員、支援要員などを対象に毎年実施しています。

研修内容は、日本赤十字社の災害時における役割の再確認、トリアージ(傷病者判定基準)について学んだ後、なごさ公園の広場を利用して、実際にdERUの資機材で救護所を設営。また、高速道路での多重衝突事故により、多数の傷病者が発生したことを想定した救護訓練を実施するなど、実践的な内容で研修が行われました。

兵庫県支部では、このような研修会を実施することで、昨年の東日本大震災のような災害発生時にも、直ちに災害現場で医療救護活動が展開できるように、救護員の育成を行っています。

dERU=緊急仮設診療所

神戸まつりで「おまつりパレード」に 県内施設、奉仕団集結!

5月20日(日)、5月の赤十字運動月間の一環として、神戸市の中心地、三宮のフラワーロードで今年も神戸まつり「おまつりパレード」に参加しました。

この日の来場者数は108万人、今年のメインテーマは「神戸からひろがれ、つながれ、ぎずなの輪」。昨年は東日本大震災の被災地へ、同じ被災地神戸から応援メッセージを送りました。今回、兵庫県支部では、例年シンボルとして上げている大型赤十字バルーンに加え、青い地球のバルーンを上げ、世界中の人々との絆を大切にすることを表現し、奉仕団員、看護学生、支部・施設職員、総勢91人で赤十字活動をPRしました。

パレードには、災害救援車、通信司令車、献血バス、献血推進キャラクターのけんけつちゃんも参加して、沿道の子供たちも大喜びでした。



神戸の空に浮かび上がった地球と赤十字バルーン

ひょうごの 赤十字

2012
June 6月

- 病院フェスタ2012 in 姫路赤十字病院
- 柏原赤十字病院の赤十字ふれあい広場
- 平成24年度姫路市地区赤十字のつどい
- 川西市赤十字奉仕団大会
- ナイチンゲール生誕祭
- 兵庫県高等学校青少年赤十字協議会加盟式・例会(第1学期)
- 知っていれば安心!!心肺蘇生とAEDの使い方
- 救護員基礎・実践研修会
- 神戸まつりで「おまつりパレード」に県内施設、奉仕団集結!

 日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

病院フェスタ2012 in 姫路赤十字病院

～地域の皆さまと「もっとクロス!」～

5月12日(土)、姫路赤十字病院で「病院フェスタ2012 in 姫路赤十字病院」を開催しました。地域の皆さまと交流を深め、病院や赤十字事業について知っていただくこと開催し、4回目となった今回も約1,800人が来場しました。

手術室の看護師体験や緊張の注射体験、胃カメラなどの医療機器の操作、白衣や救護服での記念撮影など、全部で22あるコーナーはそれぞれ行列を作り、賑わいをみせました。



かわいいナースの出来上がり!

中でも、今年初めての企画である、インドネシアから経済連携協定(EPA)で来日し、同病院に勤務している看護師・看護師候補生4人による、スライドやクイズでの故郷の紹介、民族楽器演奏(アングルン)やダンスを披露し、客席の皆さんと一緒に踊るなど、国境を越えて楽しく和やかに過ごしました。

オープニングは姫路市立高丘中学校吹奏楽部の演奏がイベントを盛り上げました。献血コーナーには「けんけつちゃん」も応援に駆けつけました。また、姫路赤十字看護専門学校の学生たちも、普段自分たちが勉強している教材を使って、子どもたち楽しく「看護」に触れてもらっていました。

おかげをもち、地域のみなさんと楽しく触れ合うことのできた一日となりました。

柏原赤十字病院の赤十字ふれあい広場

～地域の皆さまに伝えたい「絆と備え」～

日本赤十字社の活動を市民の皆さんに知ってもらおうと、柏原赤十字病院が、5月12日(土)、ゆめタウン(丹波市氷上町)で「赤十字ふれあい広場in丹の里」を開催しました。

高齢社会と災害に対する「絆と備え」をテーマに、会場では子どもたちが、救護服や看護服を着て写真撮影、救急車の見学などで大喜び。他にも、災害にも対応する衛星回線を使った電子カルテシステムの紹介、健康相談など、大人も子供も楽しめるイベントとなりました。

また片山院長の「高齢社会と災害への赤十字病院の取り組み」と題した講演では、災害時を想定したクラウド型医療情報システムの実演も行われました。

来場者からは、「次回もぜひ参加したい」、「子どもが看護や救護に興味をもてる楽しいイベントだった」、「赤十字の活動を詳しく知る良い機会になった」などの声が寄せられました。

これからも継続して、柏原赤十字病院の恒例行事として開催していきたいと思えます。



AKB48と一緒にカッコよくポーズ!

平成24年度姫路市地区赤十字のつどい

5月8日(火)、イーグレひめじ あいめっせホールで、奉仕団員約300人が参加して「平成24年度姫路市地区赤十字のつどい」が開催されました。

つどいは赤十字奉仕団員信条の朗読に始まり、石見姫路市地区長、有馬姫路市赤十字奉仕団委員長等の挨拶のあと、姫路赤十字病院の田中弘子係長と斎藤知子係長が「災害時に高齢者を支援するために」と題した講演を行い、参加した奉仕団員に赤十字の活動について理解を深めました。

災害時にはこんな工夫も。スカーフがリュックサックに早変わり。



川西市赤十字奉仕団大会



「奉仕団の協力は不可欠です」と挨拶する藤原局長

4月23日(月)、川西市役所で、「第55回川西市赤十字奉仕団大会」が奉仕団員等約30人の出席により開催されました。

冒頭では昨年3月11日に発生した東日本大震災での犠牲者に対して全員で黙祷。続いて岡田奉仕団委員長の挨拶、各来賓者からの祝辞がありました。

藤原事務局長は「いつ起こるか分からない災害に対する備えと、発災後の地域赤十字奉仕団の協力は不可欠です。赤十字に対し、より一層のご理解とご支援をお願いします。」と挨拶しました。

併せて行われた講演は、角谷奉仕課長の『東日本大震災における姫路赤十字病院勤務インドネシア人看護師の活躍について』と題した、岩手県山田町における救護活動時でのエピソード。会場内では目頭を押さえる姿も見られました。

ナイチンゲール生誕祭

5月12日(土)、川西市赤十字奉仕団がナイチンゲール像前(川西市花屋敷)でナイチンゲール生誕祭を開催しました。

この生誕祭は、日頃からナイチンゲール像周辺の清掃活動などを続けている川西市赤十字奉仕団がナイチンゲールの誕生日に合わせて毎年実施しているもので、岡田奉仕団委員長、川西市地区長などの挨拶の後、ナイチンゲールの功績に敬意を払いながら参加者約70人が献花を行いました。



兵庫県高等学校青少年赤十字協議会加盟式・例会(第1学期)

～自分たちにできることを考えよう～

5月6日(日)、兵庫県支部で「平成24年度兵庫県高等学校青少年赤十字協議会加盟式・例会(第1学期)」を開催。県内の青少年赤十字加盟校のメンバー、指導者等、62人が参加しました。

例会では、3月に実施された青少年赤十字スタディー・センターに参加したメンバー2人による活動報告、続いて多可赤十字病院の畑中看護師長から「加齢に伴う心身の変化と高齢者の支援について」と題した講演を聞きました。

午後からは、装具をつけて高齢者や片側まひの擬似体験をしました。今まで感じたことのない、体のあちこちにかかる負担や動きづらさを体感。体験してみて分かった生活で困りそうな点、自分たちがサポートできそうなことを考えました。

その後、グループごとに気付いたことや感想を発表。「普段高齢者が感じている苦勞が知れてよかった」、「片側がまひしていると、足を前に出すことすら難しかった。人ごみに居ればさらに大変だろう」、「段差の昇り降りを助けてあげたい」など、皆いろいろと感じたようです。

畑中看護師長はメンバーの体験の様子を見て、「良い学習をされたと思います。何でも助けてあげるのではなく、相手の役割やできることを尊重したうえで、何が自分にできるかをいつも考えておくことが大切ではないかと思います。」と講評し、皆に思いやりの心を伝えました。



予想外の動き辛さを痛感

○メンバー・指導者参加校

神戸第一高等学校、兵庫県立国際高等学校、兵庫県立明石高等学校、兵庫県立明石清水高等学校、兵庫県立龍野北高等学校、兵庫県立赤穂高等学校、兵庫県立柏原高等学校、兵庫県立佐用高等学校、親和中学校・親和女子高等学校